

令和1年度 佐賀県強度行動障害支援者養成研修（第2回基礎研修）プログラム（1日目）

	講義名	内 容	講 師（敬称略）
9:30	受付		
10:00～10:30 講義0.5H	プロローグ ～強度行動障害のある人について の基本的な理解～	強度行動障害とは 行動障害のある人への支援のこれまで 行動障害のある人が困っていること 行動障害への挑戦の意義と必要性	社会福祉法人はる 福島 龍三郎
10:30～11:00 講義0.5H	支援についての基本的なこと ～支援のプロセス～	支援の基本的枠組み サービス等利用計画について～支援の基本的プロセス～ 個別支援計画と支援手順書について 行動障害のある人の意思決定支援 記録と情報共有	佐賀地区障がい者 基幹相談支援センター 清水 早苗
	休憩		
11:10～12:10 演習1.0H	私たちが困っていること ～感覚の違いを体験しよう～	感覚・知覚の特異性と障害特性 演習「作業（視覚的な手がかりがない場合、ある場合）」 演習「作業（軍手をはめて）」 演習「騒がしい環境での聞き取り」 演習「狭い視野での活動」	社会福祉法人はる 福島 龍三郎
12:10～13:10 演習1.0H	わかりにくいんです ～伝わりにくさを体験しよう～	コミュニケーションの理解と表出 演習「意味の分からない言葉での指示」 演習「視覚と聴覚で違う情報」 演習「分かりにくい提示」 グループ討議／まとめ	社会福祉法人はる 福島 龍三郎
	昼休み		
14:00～15:00 講義1.0H	私たちのことを知ってほしい ～強度行動障害に関係する障害 について～	自閉スペクトラム症について 知的能力障害／精神障害について	NPO法人それいゆ 黒木 麻美
15:00～16:00 講義1.0H	ボクらと世界のつながり方 ～環境を整えることの大切さ～	構造化の基本と手法	NPO法人それいゆ 黒木 麻美
16:00～16:30 講義0.5H	知ることから始めよう ～根拠を持って支援する～	演習「アセスメント」 アセスメントとは 情報の入手とその方法	株式会社ぶれしやす 療育サポートセンタークレア 諸石 愛子

令和1年度 佐賀県強度行動障害支援者養成研修（第2回基礎研修）プログラム（2日目）

	講義名	内 容	講 師（敬称略）
9:00～10:30 演習1.5H	本当の理由を考えよう ～冰山モデルで考える～	演習「冰山モデル」 行動障害を理解する冰山モデル グループ討議／まとめ	株式会社ぶれしやす 療育サポートセンタークレア 諸石 愛子
	休憩		
10:40～11:40 講義1.0H	医療と一緒に ～福祉と医療の連携～	行動障害と医学的な診断 行動障害と医療的アプローチ 福祉と医療の連携	国立病院機構 肥前精神医療センター 會田 千重
	昼休み		
12:30～14:00 演習1.5H	本人にわかりやすい環境と活動 ～支援手順書を使って～	様々なコミュニケーション方法 演習「整えられた環境での活動」	NPO法人それいゆ 吉永 菜穂子
14:00～14:30 演習0.5H	お互いに共有しよう ～記録と情報共有～	記録とそのまとめ方と情報共有 演習「記録と情報共有」	社会福祉法人はる 福島 龍三郎
	休憩		
14:40～15:10 講義0.5H	支える仕組み ～制度理解のヒント～	行動障害のある人を支える制度	佐賀県障害福祉課
15:10～15:40 講義0.5H	そのとき、あなたはどうしますか ～障害者虐待、身体拘束、行動制限 の防止は支援の向上から～	障害者虐待防止法とは 行動障害と虐待	佐賀地区権利支援センター 村岡 智紀
15:40～16:40 講義1.0H	支援の現場から ～実践報告～	児童期における支援の実際 成人期における支援の実際	株式会社ぶれしやす 社会福祉法人はる
	休憩		
16:40～17:30 講義	ひとりで悩まないで ～支援者ケアの大切さ～	福祉の仕事と感情労働 支援者ケアと虐待防止 支援者をケアする方法	社会福祉法人はる 福島 龍三郎

* やむを得ない事情等によりプログラム、講師を変更させていただくことがあります。